

町会・自治会だより

しかはま

Vol.

34

令和6年10月

●がんばる「子ども会」応援しよう.....	1
●町自連協会●地区対総会.....	2
●地区対会長に浅香一浩氏.....	2
●合同球技大会●加賀町会もちつき.....	3
●加賀二丁目自治会子ども食堂.....	4
●血沼町会・血沼東町会ふれあい広場.....	4
●アフレコ協議会●町自連研修旅行.....	5
●橋町会児童会長インタビュー.....	6
●浅香孝子氏顕彰褒章受章祝賀会.....	6
●足利デマンドタクシー.....	7
●島町会 茅の輪はこう作る.....	7
●東町会「歩け歩け運動」.....	7
●ラジオ体操大会.....	7
●公園散歩・見沼代親水公園.....	8
●人事異動●編集後記.....	8

主催・発行／足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会
編集／編集委員会
足立区鹿浜6-8-1 鹿浜区民事務所内
TEL 03-3853-2301

★がんばる「子ども会」応援しよう★

子どもたちの健全育成のために「子ども会」はじめ地域の育成団体が活動しています。「子ども会」を支えているのは主として会員の保護者のみなさんです。子どもたちに色々な経験をさせてあげようと暑さ寒さの中頑張っています。また、多くの団体が活動資金のために地域の協力を得ながら廃品回収なども行っています。

団塊ジュニアによるベビーブームの頃は各町会・自治会ごとに「子ども会」があり、スポーツ活動、各種お楽しみ会、日帰り旅行、お祭りなど活発に行われていました。それを支えてくれる保護者もたくさんおられました。しかしこの20年～30年で時代は少子化に移り少数の親御さんたちでは支えきれなくなり活動も年とともに細くなってきているのが現状です。

それらを補う形で住区センターや育成団体、スポーツクラブが主催する子ども向けのイベントも増え「子ども会」活動の中に採り入れられてきています。「子ども会」、町会・自治会、地区対、スポーツクラブなどがそれぞれアイデアを出し合い、子どもたちの健全育成にどのように貢献できるのかを考える時期に来ているように思います。

昔とちがい各家庭で子どもにいろいろな経験をさせることができる時代となりましたが、地域の子どもの同士の交流は貴重な体験となり、そこから学ぶことも少なくありません。子どもは未来を担う宝。地域もがんばる「子ども会」を応援していきたいものです。

(副編集長 矢萩敏隆)



▲何のゲームかな？



▲楽しい射的 子ども会活動



令和
6年度

鹿浜地区町会・自治会連絡協議会 総会・懇親会

令和6年6月3日(月) 鹿浜いきいき館において「足立区鹿浜地区町会・自治会連絡協議会」の総会が行われました。池田正人区民事務所長の司会で始まり、横田夏夫町・自連会長の挨拶がありました。その中で「町会加入率が低く高齢者が増し町会・自治会の催し物に対しても実施が困難になってきていますが、全員一致団結して明るい鹿浜地区の街づくりを目指したい」と話されました。来賓のたがた直昭議員、鹿浜昭議員からもこの町自連の発展に伴う温かい言葉をいただきました。議事進行役の議長には野辺愼一鹿浜古内町会長が選出され1号から6号議案を全員異議なく、スムーズに進行されて総会が終わりました。

続いて、退任者の表彰があり、松村哲男氏、大滝圭三氏、青山愛子氏、磯部義教氏の4名に横田会長より感謝状が贈られました。総会後は懇親会に移り、並べられたテーブルの料理をいただきながら、飲んで語って地域一体の輪が繋がり、また、新任の紹介者の挨拶もあり和やかな一夜となりました。
(編集委員 坂井孝夫)

一致団結して明るい鹿浜を



▲町自連総会の様子

令和
6年度

足立区青少年対策鹿浜地区委員会 総会

本年も例年通り6月10日(月) 午後6時30分より鹿浜いきいき館にて地区対総会が開催されました。

今回は会長改選があり、浅香孝子現会長が退任され、新たに浅香一浩新会長が就任されました。余談ではありますが、浅香孝子現会長の挨拶の折、「今回の改選は決して世襲ではありません、念のため……」との発言があり湧きました。

現会長へ感謝状、花束の贈呈、新会長の就任挨拶と進み総会は無事終了。懇親会へと進み、にぎにぎしく乾杯の発声があり、和やかに会は進みお披露喜となりました。
(編集委員 柴田悦男)

なごやかに地区対総会



▲鹿浜地区対総会であいさつする浅香孝子前会長

地区対会長に
浅香一浩氏

微力ながら鹿浜地区の青少年の健全育成のため、鹿浜地区対の更なる発展のために専心努力いたす所存でございます。未熟な私でございますので、これまで通りのご支援・ご協力をいただけますようお願い申し上げます。(青少年対策鹿浜地区委員会会長 浅香一浩)



▲浅香一浩会長

合同 球技大会

野球、ドッジボールともに熱戦

令和6年3月3日(日)に合同球技大会が鹿浜未来小学校で行われました。屋外では野球、体育館ではドッジボール。どちらも熱戦でした。

小学生のスポーツだと侮るなかれ。野球では大きな打球をかつ飛ばし、ドッジボールでは迫力あるボールをビュンビュン投げ込んでいました。

一生懸命プレーする子どもたち、それを大きな声で応援する家族や指導者、チームメイト。その姿を見ると、スポーツを通じて楽しさや仲間への思いやりを経験し、心も育んでいくんだなとしみじみ感じた一日でした。



▲校庭で行われた野球



▲ドッジボールは体育館で行われた……

加賀町会 もちつき大会

手焼き煎餅の体験も

平成28年に加賀子ども育成会が解散してしまいました。令和4年にこの町会で生まれ育った子どもたちに思い出と故郷意識を持たせようと再発足を目指し現在に至っています。

餅つき大会はその一環で加賀町会の全面協力を得て3月に開催しました。

当日は40kgのもち米を2台の石臼を使い全て杵でつきました。つきては当日参加してくれた、大人や子どもたちです。子どもたちはもち米がお餅になる様子を近くで見ても不思議がっていました。お餅は、餡子・きな粉・ゴマ等と絡め、美味しくいただいたのは言うまでもありません。同時に、豚汁・焼き芋を作り子どもたちには手焼き煎餅の体験をして貰い、世界でたった一枚の味を噛みしめました。帰り際には多くの方が



▲餅つきにチャレンジ！

楽しかったと口々におっしゃっていました。改めて地域行事は大切だと思いました。当日は約200名の参加者がいましたことを報告いたします。

(加賀町会)

美味しいご飯が待ってます！

都住加賀二丁目自治会 子ども食堂

都住加賀二丁目自治会青少年育成部では令和6年5月18日から子ども食堂を始めました。毎月第二または第三土曜日に団地内の集会室で食事を提供しています。

毎回親子連れが10～20人程度が来てくれており、評判は上々です。

食材は篤志家の援助、寄付でまかなっており、子どもたちが無料で食事が採れ、地域の人とのつながりができるようにと始めました。

準備ややりくりは大変ですが、何より子どもたちの



▲美味しい、楽しい！子ども食堂のみなさん

「おいしーい！」という声と笑顔が何よりも励みになっています。

美味しいご飯が待っています。ぜひ食べに来てね。

(都住加賀二丁目自治会会長 二見敏彦)

ふれあい広場

皿沼町会・皿沼東町会 — 子供会主催 —

皿沼町会・皿沼東町会の子供会主催のふれあい広場は、町会行事の一環として長きにわたり開催されてきました。昨年より子供会会長を務める松本達也氏に取材しました。

●前日準備から当日の内容、後片付けまでの流れを教えてください。準備で気を配られていることはありますか？

松本氏：前日の午後から準備を始めます。当日は朝から設営。焼きそば、フランクフルト、かき氷等、各担当が準備します。途中ビンゴ大会を行い、最終片付けが3時過ぎです。

ふれあい広場は例年8月の第3日曜日と決められているので気を配るところは暑さです。日陰を作るためテントを立てて直射日光が当たらないようにしています。炎天下の中の2日間、協力してくださる役員さんやOBの方々の体調に気を配りながら準備しています。

●子どもたちや来賓の方々の様子を聞かせてください。

松本氏：子どもは暑さに負けず美味しそうに食べて、楽しそうに遊んでいます。

来賓の方は8月の暑いなか、大勢足を運んでいただいて盛り上げてくださり、感謝しています。暑いので体調を崩さないようにして楽しんで行ってくれればと思っています。

●子供会は皿沼町会と皿沼東町会が合同ですね。子供会だけ両町会と活動が一緒の理由を説明してください。

松本氏：子供会は両町会と一緒に活動しています。特に理由はないと思いますが…。同じ学校、同じ学年、同じクラスの子どもたちが大勢参加したほうが楽しい

と思うので、そういう意味でも一緒にやる意味があると思います。

●ご自身が小学生の頃参加していたふれあい広場に子供会会長として子どもたちをむかえる立場になったお気持ちを教えて欲しいです。

松本氏：自分も小学生の頃はふれあい広場を楽しみにしていたので、それを主催者側で参加させていただいて嬉しく思います。世代を超えたコミュニティの場でもあるので今、参加している子どもたちが大人になっても継続してふれあい広場が開催されていたら嬉しいです。

ありがとうございました。私の娘も皿沼小学校卒業で、毎年ふれあい広場を楽しみにしていました。お手伝いは大変ですが親同士や地域の皆さんとの交流の場でもあり、楽しい時間でした。これからも夏休みの締めくくりの行事として、次の世代に引き継がれていくことを期待しています。(編集委員 新井一恵)



▲ふれあい広場



アレフに抗議します！

令和6年3月16日に足立区入谷のアレフ施設前で抗議行動をしました。

地域住民や足立区長、オウム真理教対策議員連盟の議員など約110名が参加。

入谷八丁目公園からデモ行進、施設前で抗議文を読み上げ、舎人一号公園まで約20分かけて行進をしました。

令和6年5月13日に足立入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会総会が舎人地域学習センターで開催されました。

住民協議会の会員や足立区長、オウム真理教対策議員連盟の議員など62名が参加。

総会の審議はすべて可決され、横山修平会長が再任されました。

◀多数の方が参加した抗議行動

鹿浜地区町会・自治会連絡協議会



群馬・研修旅行



堅い研修と楽しい視察

本年度の研修旅行が6月24日に実施されました。残念ながら諸物価高騰の折、今回は日帰りの研修旅行となり、群馬県方面へと旅立ちました。道すがらを紹介しながら道中顛末を報告しましょう。

当日は朝から快晴に恵まれ、午前7時出発。数地区を巡って8時ころには首都高速道へと進み、関越道へと入りました。この旅行は堅い堅い研修旅行です。まず最初に区民事務所所長より「足立区令和6年度予算編成のあらまし」の講話を1時間ほど伺いました。ほどなくバスは沼田IC経由で沼田市にある日本酒蔵元を訪ね、いつもどおりの工場見学、試飲、買い物をし、酒風味のソフトクリームも味わいました。

続いて昼食会場へと移動し、皆さんは美味しいご膳をいただきました。さらにバスは沼田ICを経て、富岡市一之宮に鎮座する重要文化財である一之宮貫前神社（物部君姓磯部氏が祖神の経津主神を祀ったことに始まる）に詣で、皆さん姿勢正しく二礼二拍手一礼にてお詣りさせていただきました。

最後の訪問先こんにゃくパークへ行き、工場見学、



▲研修旅行に参加したみなさん

次にこんにゃくバイキング会場へと進み、素人では思いもよらない様々なこんにゃく料理に舌鼓を打ち、こんにゃく土産をたくさん買い求めて帰路につきました。

全員無事故で、無事に鹿浜へと到着しました。大変有意義な研修旅行に思わず「乾杯」。ありがとうございました。

町会・自治会に加入しましょう

椿町会 齋藤茂会長に インタビュー

近年、全国で大きな災害が発生しています。災害発生直後、行政機関・消防・警察等からの支援は、現実的に期待できません。町会・自治会では防災訓練や非常食等の備蓄など、緊急時に備えた取り組みをしています。町会・自治会に加入して協力の輪を広げていきませんか。



▲齋藤会長

町会会の加入数と加入割合は？

町会世帯数約888世帯のうち加入は374世帯ですので、42.1%の加入率となります。年会費は3,000円です。

加入者を増やすためにどのようなことをされていますか？

- ①地域の若い力の結集がうれしい
若者の組織…「若椿会」の誕生。結成は平成30年で、「こどもにつばきという地域の思い出づくりを」と若椿会が誕生しました。
- ②夏祭り(納涼・輪踊り)の40年振りの開催
神社例大祭では、神輿の渡御巡行で町会の絆の源として活躍しています。発足10名からスタート。現在は50名(女性20名)が町会活動を支えています。

皆さん、椿町会の行事にお越しく下さい。

地域の絆を強め「安全・安心で楽しい街づくり」活動に参加してみませんか。私たちはご近所の知り合い(隣組)が、安全・安心の第一と考えています。
(編集委員 江川せつ子)

浅香孝子氏藍綬褒章受章の祝賀会



▲受章した浅香孝子氏

令和6年4月6日(土)浅草ビューホテルで「浅香孝子氏の藍綬褒章受章を祝う会」が開催されました。浅香さんは保護司を長年努められ、その栄で受章したもので、足立区保護司会西新井第三分区が発起人となって催されました。

祝う会には、近藤やよい足立区長はじめ、国会議員、都議会議員、区議会議員、また警察庁長官、保護司、町会関係者など多数が出席されました。来賓あいさつではそれぞれ浅香氏の功績をたたえられ、氏の健康と一層のご活躍を祈っておられました。

鹿浜町自連でも、浅香孝子さんの受章を心からお祝いし、今後のますますのご発展をお祈りいたします。

(編集長 野辺慎一)



足立区デマンドタクシー

入谷・鹿浜地区で実証実験中！——— 令和6年6月17日～令和6年12月13日

足立区では、足立区総合交通計画に基づく交通不便地域の解消に向けた事業として、区西部の入谷・鹿浜地区において足立区デマンドタクシー(通称:足タク)の実証実験を実施しています。

デマンド交通とは…定時に運行するのではなく、予約があったときのみ運行する交通手段のことです。足タクとは…足立区デマンドタクシーの愛称です。移動は自宅と乗降スポット間に限定されますが、通常のタクシーより安価で利用できます。

足タクの利用には事前登録が必要です。利用を希

望される場合は、下記いずれかの申請方法により事前登録をお願いいたします。

- ①足立区オンライン申請システム
- ②足立区役所交通対策課窓口申請書をご提出ください。

▶詳しくは
交通対策課 電話番号03-3880-5937



鹿浜島町会

茅の輪はこう作る

一年の半分を過ぎた6月30日、半年間で私たちの身に積もった不浄を祓い落とし、7月からの半年間、無病息災を願って大きな茅の輪をくぐる神事が今年も島氷川神社で執り行われました。

この大きな茅の輪は直径約2.5m、重さは約70kgにもなります。

神事の朝に鹿浜島町会幹部役員80名で荒川土手まで茅（長いもので1メートル80センチ前後）を刈りに行き、軽トラック一杯に積み込みます。刈りに行く時は必ず長袖、長ズボンを着用しないと茅の葉で肌が切れてしまいます。

島氷川神社に戻り、あらかじめ竹で丸く作った輪に茅を縄でくくりつけていきます。バランスよく丁寧に丁寧に。



▲無病息災を願って茅の輪を作る鹿浜島町会の方々

できあがった輪をみんなで協力して運び、鳥居に取り付けて完成。今年も綺麗に完成させることができました。

鹿浜4町会と椿町会、堀之内町会で何百年と続いている輪くぐり祭。いつまでも続いて欲しいと願っています。
(鹿浜島町会副会長 鈴木健治)



鹿浜東町会

歩け歩け運動



▲都市農めざして……

時は令和6年6月2日（日）午前10時にその一団は動きました。いや正しくは会長あいさつに続き行動の諸注意の後のことです。

当日の模様を綴る前に、自身の心の葛藤を少々述べてみます。予定日の10日前頃より天気予報は「ダメ」かな？と絶望的な予報が飛び交う。実行担当者からは、おにぎりの手配、お菓子の手配どうするの？雨が降ってたらどうするの？と大プレッシャー。これも全てお天道様のなさることと思いつつ前日を迎え、夜も眠れず朝寝して目が覚めるとカーテンの外が明るい。ラッキー！でした。その間に併せて団体行動の安全のため、警察署への届け出、交通部への安全確保依頼、交通傷害保険の手続きも忘れずでした。

さて、今年で12回目の運動は町会に根付いた老若男女誰でも参加できる健康第一の活動で子ども育成会の方々と共催で実施されました。

今回は80名程の参加があり、都市農業公園を目指し出発。往路は環七北通りを西へ一直線。横断歩道、信号が多く交通部の方々はご苦労なことでした。無事に到着、するとどうでしょう。アイスクャンディーが用意されていました。嬉しいですね。全員で集合写真を撮り、しばし休憩を取り、復路を！団地を抜け島・糺屋公園を左手に進み、産業道路を渡り、校趾公園を右手に進みます。脱落者もなく全員無事に戻ることができました。

(編集委員 柴田悦男)

ラジオ体操大会



令和6年7月28日に鹿浜地区対主催・鹿浜町自連後援、ラジオ体操大会が押部グラウンドで開催されました。

昨年に引き続きラジオ体操でおなじみの多胡肇先生が来てくださり、テレビで見た先生のお手本を生で見ながらラジオ体操をするという贅沢な時間を過ごすことができました。

今年も暑い中でしたが、多胡先生をはじめ、たくさん子どもたちや関係者の皆様、多数のご参加ありがとうございました。



▲元気にラジオ体操



公園散歩

見沼代親水公園

日暮里舎人ライナーの終点にあります。見沼代親水公園、かつては農業用水として活用し、埼玉・足立区などの広大な田園地帯を潤したのでしょうか。40年位前に遊歩道として整備されたそうです。

夏の日差しが強くて散歩する人もまばらでしたが、サルスベリの花は元気いっぱい。しだれ桜もあり、花見の頃は大勢の人たちでにぎわうことでしょう。

(編集委員 江川せつ子)



▲公園を流れる小川が見沼用水時代を偲ばせる……

人事異動

鹿浜地区の主な団体等の人事異動について報告します。

上沼田第三アパート自治会

田島みち子 会長 (令和6年4月1日就任)

皿沼東町会

横田 修 会長 (令和6年4月20日就任)

日本住宅公団江北六丁目団地自治会

伊達 敏昭 会長 (令和6年4月28日就任)

鹿浜靴屋町会

榎本 豊 会長 (令和6年5月12日就任)

青少年対策鹿浜地区委員会

浅香 一浩 会長 (令和6年6月10日就任)

加賀中学校

難波 浩明 校長 (令和6年4月1日着任)

鹿浜いきいき館

峯岸 幸子 館長 (令和6年4月1日着任)

鹿浜区民事務所

池田 正人 所長 (令和6年4月1日着任)

編集後記

▶7月に埼玉県長瀬近辺を訪ねた。708年に日本最古の銅貨である和同開珎が製作されたのをまつた神社へ行った。結構なにげない。結構なにげない。「歴史に興味があるのですね？」と若い男女に聞くと「宝くじや競馬をするときに拝む神社なんです」と言う。歴男歴女が増えてきたと喜んだのに、ちょっと残念だった。花園IC近くの道の駅に入った。すると、今度は新一万円札の渋沢栄一色だった。渋沢翁はすぐ近くの深谷市の出身である。北区王子にも記念館がありわれわれにもなじみ深い。それにしても、お隣り埼玉県はすごい！日本最古の銅貨、そして資本主義の父・渋沢栄一を生み出したのだから…。(編集長 野辺慎一)

▶子ども達が小学生の頃「足立の花火」を観に自転車で行きました。都市農業公園の土手から河川敷に降り、江北橋を越えれば大きな花火が見えました。子ども達が中学生になった頃、11号線の扇大橋より一段高い日暮里舎人ライナーが出来、扇大橋より下流に行かなければ花火が見えなくなりました。

クーラーのきいた涼しい部屋で、美味しいお酒とおつまみを並べて画面を見るのがここ最近の「足立の花火」の楽しみ方。河川敷からの映像だけでなく空中からの映像もあり、とても美しい。今年は、ゲリラ豪雨により中止になりましたが、雷鑑賞から始まり、昨年の映像を楽しめたのは文明の発達のおかげ。

さらに文明は発達し、VR(バーチャルリアリティ)の発達により「限りなく実体験に近い体験が得られる」ことが出来るようになりました。TVや携帯電話が一人一台が当たり前になったように、誰もが花火会場にいるような臨場感と全方向視点のVRを楽しむ時代も、もうすぐなのかもしれません。

(編集委員 豊岡多恵子)

編集長 野辺慎一

副編集長 矢萩敏隆

委員 江川せつ子、坂井孝夫、豊岡多恵子、大滝圭三、新井一恵、柴田悦男

事務局 鹿浜区民事務所地域担当係長 成島哲雄